Press Release

報道関係各位　　平成 30 年 11 月 27 日

【2018 年アルバイト・パート 仕事探しの情報源に関する調査】

Web で仕事探しを行った求職者は 68.1%。

2015 年と比べ、＋22.1 ポイントと大幅アップ。Web 以外は減少。

多様な働き方の調査研究機関「ツナグ働き方研究所(https://tsuna-ken.com/ 株式会社ツナグ・ソリューションズ／本社：東京都千代田区／代表取締役社長：米田光宏、証券コード：6551)」は、2 年以内にアルバイト・パートとして仕事探しを経験した方を対象に、「仕事探しの際に最も利用した情報源」についてアンケート調査を実施しました。前回・2015 年調査時との比較も含め、結果をとりまとめましたので、ご報告いたします。

調査結果 概要

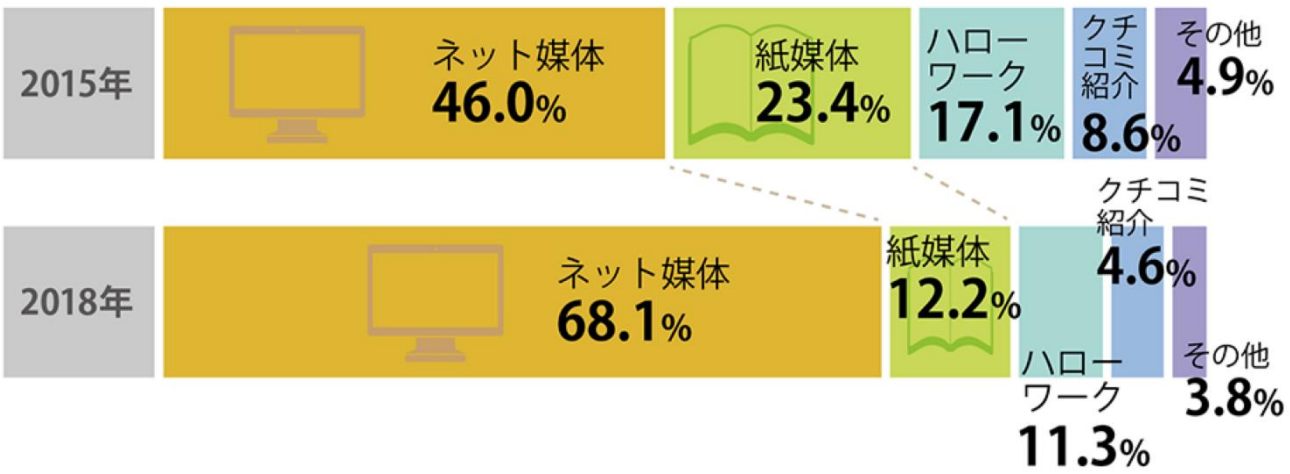
1．仕事探しは求人サイト、ホームページなど Web を情報源とする求職者 68.1%・+22.1 ポイント
2．求人情報アプリの利用率、2015 年 6%から 2018 年 19.8%と 13.8 ポイントアップ
3．大学生・専門学生の Web 利用 8 割以上、主婦・シニアも Web 利用が前回から 10 ポイント以上アップ

調査結果 詳細

1．仕事探しは求人サイト、ホームページなど Web を情報源とする求職者 68.1%・+22.1 ポイント

求人サイト、採用ホームページなど Web 上で仕事探しを行ったという求職者が、前回調査を実施した 2015 年の 46.0%から 68.1%と大きく伸びました（前回比＋22.1 ポイント）。
その一方で、求人誌、折込チラシなど紙を情報源とする求職者は 23.4%から 12.2%と減少（同▲11.2 ポイント）。その他、ハローワーク・クチコミ紹介と Web 以外の情報源はスコアを下げています。求職者にとって仕事探しの情報を取得する場が、Web へと移行していることが表れた結果となりました。

<仕事探しの際に最も利用した情報源>



2．求人情報アプリの利用率、2015 年 6%から 2018 年 19.8%と 13.8 ポイントアップ

スコアの詳細を見てみると、Web の中では特に「求人情報アプリ」の利用率が前回と比べ最も伸びており、前回 6%から今回 19.8%（+13.8 ポイント）となっていました。続いて、「インターネット求人 Web サイト」が 24.2%から 32.0%（+7.8 ポイント）の伸びとなっています。

一方で、紙の中でも特に「求人誌」は 10.8%から 5.5%（▲5.3 ポイント）。「折込チラシ」は 10.2%から 4.6%（▲5.6 ポイント）と大きく減少しました。

＜仕事探しの際に最も利用した情報源（詳細）＞

		全体		
		2015年	2018年	差異
Web	インターネット求人webサイト	24.2%	32.0%	7.8pt
	求人情報アプリ	6.0%	19.8%	13.8pt
	検索エンジンによるキーワード検索	12.8%	12.3%	-0.5pt
	SNS	0.6%	1.8%	1.2pt
	企業・店舗の採用HP	1.8%	1.4%	-0.4pt
	ダイレクトメール	0.4%	0.4%	-0.1pt
	ネット広告(Yahoo!のバナーなど)	0.2%	0.5%	0.3pt
紙	求人誌(有料・無料問わず)	10.8%	5.5%	-5.3pt
	折込チラシ	10.2%	4.6%	-5.6pt
	新聞・新聞広告	1.9%	1.6%	-0.3pt
	雑誌記事・特集	0.3%	0.3%	0.0pt
	雑誌広告	0.2%	0.2%	0.0pt
ハローワーク	ハローワーク	17.1%	11.3%	-5.8pt
クチコミ・紹介	クチコミ・人からの紹介	8.6%	4.6%	-4.0pt
その他	店頭や路上などのポスター広告	1.1%	1.4%	0.3pt
	その他	2.6%	0.9%	-1.7pt
	学校の求人・掲示板	0.7%	0.9%	0.2pt
	テレビCM	0.2%	0.3%	0.1pt
	駅の広告や、車内の中吊り広告	0.1%	0.2%	0.1pt
	屋外広告(ビル看板など)	0.1%	0.1%	0.0pt
	テレビ番組・特集	0.0%	0.0%	0.0pt
	ラジオCM	0.0%	0.0%	0.0pt

■プラスまたはマイナスで５P 以上の開きがあるもの

3．大学生・専門学生の Web 利用 8 割以上、主婦・シニアも Web 利用が前回から 10 ポイント以上アップ

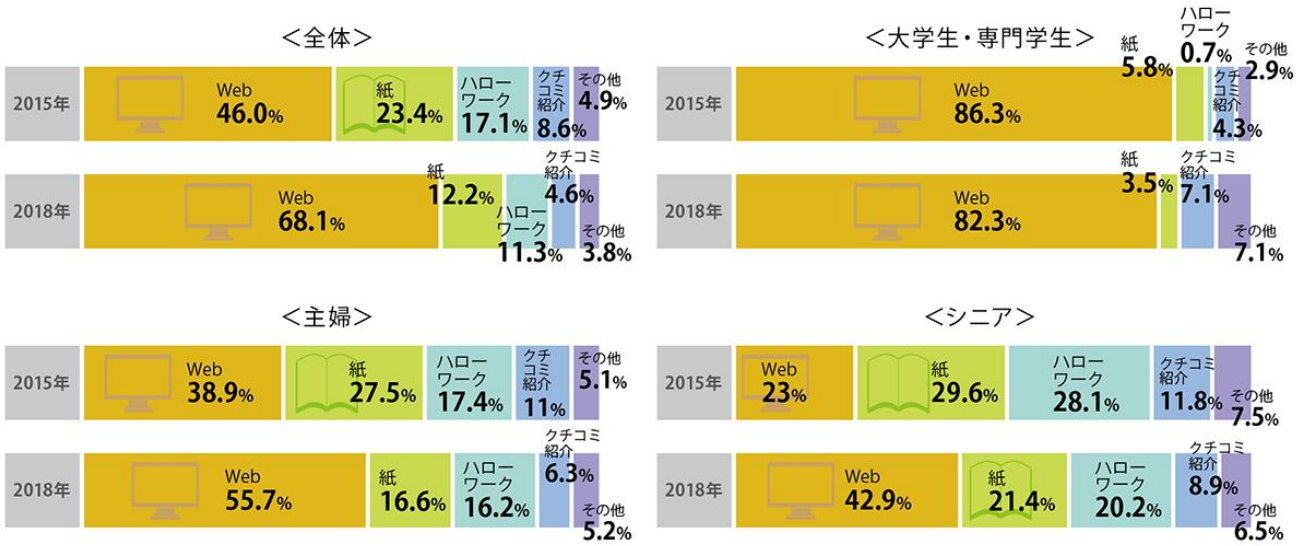
前回と今回を比較すると、全体的に Web の比率が伸びています。

大学生・専門学生は元々Web 利用比率が高く、前回も今回も 80%を超えていますが、大きく伸びたのはシニア・主婦の利用でした。

Web で仕事を探すというシニアの求職者は、前回 23.0%から今回 42.9%（＋19.9 ポイント）・主婦は前回 38.9%から 55.7%（＋16.8 ポイント）となっています。

代わりに、ハローワーク・クチコミ紹介と Web 以外の情報源はスコアを下げています。紙＋ハローワーク＋クチコミ、紹介を足した数値は、シニアは前回 77.0%から今回 57.0%（▲20.0 ポイント）・主婦は前回 61.0%から 44.3%（▲16.7 ポイント）となりました。

＜属性別 仕事探しの際に最も利用した情報源＞



■調査概要

調査期間：2018/4/20~2018/4/24

調査対象：アルバイト・パートに直近で接点がある全国の 18~66 歳までの 1,082 人

調査方法：インターネットによるアンケート

■ツナグ働き方研究所とは...

アルバイト・パート専門の人材コンサルティング会社、株式会社ツナグ・ソリューションズを母体とする「多様な働き方」の調査研究機関。少子高齢化による労働力人口の構造変化や IT 技術の進化、グローバル化による産業構造変化が加速する中、ますます広がりを見せるアルバイト・パートを中心とした多様な労働市場において、「個人の価値観が尊重される働き方」「現場の人材が最も輝く働き方」「21 世紀をリードする多様な働き方」をテーマに、調査・研究・開発に取り組む。

所長である平賀充記(ひらがあつのり)は、リクルートフロムエー(現リクルートジョブズ)にて、FromA、タウンワーク、とらばーゆ、ガテン、はたらいくなど、リクルートの主要求人メディア編集長を歴任した「アルバイトの専門家」として活動している。

■過去の調査、リリースは以下に公開しております。

【飲食店店長・意識調査】飲食店店長が選ぶアルバイト求人媒体ベストテン発表！

https://tsuna-ken.com/report/20171120_1591.html

【2017 年アルバイト採用力調査】

・主婦編　時間・場所を重視　主婦人気バイトはセブン-イレブン！

https://tsuna-ken.com/report/20170522_1499.html

・学生編　給与・仲間・仕事がポイント　1 位はスターバックス！

https://tsuna-ken.com/report/20170516_1500.html

【アルバイト&パート職場コミュニケーション調査 2016】

・応募者が【ブラックバイト判定する】３つの鬼門とは!?

https://tsuna-ken.com/report/20160603_1534.html

・『"ゆとり"から"団塊"まで...世代入り乱れるカオスな職場で 上司・店長が身を守るための３つの「境界線」！』

https://tsuna-ken.com/report/20160629_1532.html